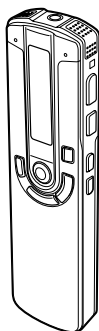
取扱説明書

ステレオデジタルボイスレコーダー

品番　ICR-S177M
ICR-S178M

お買い上げいただきましてありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は"いつでも見られる所"に大切に保管してください。
なお、この取扱説明書は"保証書付"になっています。保証書は「お買い上げ日」、「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。
お問い合わせの時などに便利です。

品　番	ICR-S177M ICR-S178M
お買い上げ日	年　　月　　日
お買い上げの 販売店名	電話（　　）　　－

もくじ

はじめに

基本操作

応用操作

その他

基本操作ガイドについて

すぐにご使用になりたい方は、基本操作ガイドをご参照ください。ただし、4ページ「安全上のご注意」および、10ページ「付属品の確認」は必ず最初にお読みください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
⃠「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

■ 分解・改造しない

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 運転中は使用しない

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、乾電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

ヘッドホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない

禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。温度が5℃以下、または35℃以上の場所では使用しないでください。
また、本機を湿気の多い場所で使用しないでください。身につけている場合は、汗による湿気で故障の原因となることがあります。水漏れや湿気で故障と判断した場合は、保障の対象外となり、無料修理はできません。

■ 置き場所に注意

禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

乾電池について

⚠ 注意

■ 乾電池は正しく入れる

乾電池を入れるときはプラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。

■ 乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

■ ショートさせない

ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。乾電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。

■ 長時間入れたままにしない

長時間(1週間程度)使用しないときは乾電池を取り出しておいてください。乾電池からの液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。

■ 録音内容を消去するときは、電池残量を確認する

録音内容を消去するには電池残量表示を確認してください。消音の途中で電源が切れると、録音内容は消去できません。

■クレジットカードなどをスピーカーに近づけない

スピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープは本体のそばに置かないでください。磁気が壊れて使用できなくなることがあります。

乾電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

著作権について

放送やMD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

必ずお読みください

本機の使用中、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容(データ)の損失を防ぐために
1.録音前には必ず試し録音をしてください。
2.録音データを他の機器にバックアップしてください。
本機の使用中での不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても補償については、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

登録商標についての注意

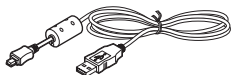
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows Media™および Windows® ロゴは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。
- Windows Media™ PlayerはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。

- その他 本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、® マークは明記していません。

付属品の確認

箱から出し、付属品がそろっているか確認してください。

- ステレオデジタルボイスレコーダー 1

- 専用USB接続ケーブル 1

- 単4形アルカリ乾電池 ... 2
- 本書（保証書付） 1
- 基本操作ガイド 1
- CD-ROM 1

付属のソフトウェアについて

□ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されています。

□ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求などにつきましても、当社は一切その責任を負いかねます。

□ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り換えいたします。

□ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

□ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

※付属のCD-ROMをオーディオ用プレーヤーでは再生しないでください。

主な特長

1 高音質長時間録音可能!

- MP3音声データで、
  ICR-S177M(256MB)
  :約34時間50分(LP モード時)
  ICR-S178M(512MB)
  :約70時間30分(LP モード時)
  の高音質録音が可能です。録音モードについては22ページの「録音時間について」を参照。
- 内蔵のステレオマイクでステレオ録音ができます。
- WMA(Windows Media Audio)の再生ができます。

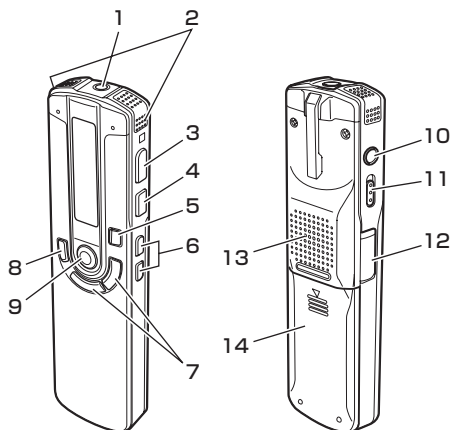
2 パソコンと接続可能!

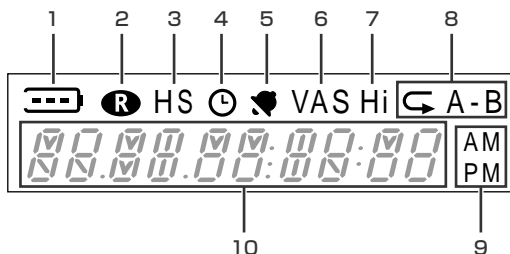
- USBドライバ不要で、簡単にパソコンに接続できます。
  (Windows98/98SEは専用USBドライバのインストールが必要となります。→54ページ「USBドライバのインストール」参照)
- フロッピーディスクなどの代わりとしてパソコンデータの一時保存にも使えます。
- 本機で作成した音声ファイルはパソコンで再生できます。
  (MP3が再生可能なWindows Media Playerなどのソフトウェアをインストールする必要があります。)

※ 本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後性能改善や操作性向上のため製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

各部のなまえ

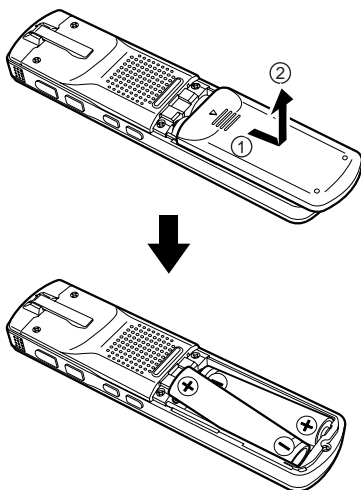
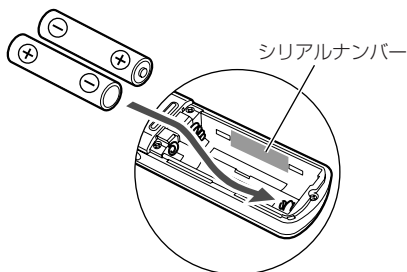
くわしくは、(　)内のページをご覧ください。

本体

1. **ステレオマイク**端子(16ページ)
2. 内蔵ステレオマイク
3. **再生/一時停止**(▶/❚❚)ボタン(17ページ)
4. **停止/メニュー**(■)ボタン(19ページ)
5. **消去**ボタン(38ページ)
6. **スキップ/サーチ**(I◀◀, ▶▶I)ボタン(31ページ)
7. **音量+/−**ボタン(21ページ)
8. **フォルダ/リピート**ボタン(25ページ)
9. **録音**ボタン(26ページ)
10. **ヘッドホン**端子(15, 27ページ)
11. **ホールド**スイッチ(18ページ)
12. **USB**端子(56ページ)
13. スピーカー
14. 電池ぶた(14ページ)

液晶パネル

1. 電池残量
2. 録音表示
3. 録音モード
4. タイマー
5. アラーム
6. VAS(音声起動録音)
7. マイク感度
8. リピート/A-Bリピート
9. AM/PM
10. 各種情報表示

お使いになるまえに

乾電池の入れ方

●乾電池ぶたの開け方

●乾電池の入れ方

電池残量表示

電池残量は、液晶パネルの電池残量表示で確認してください。

"Lo bAT"表示後　液晶パネル表示消灯 →電池切れ

電池残量表示が ［　］ を点灯したら

新しい単4形アルカリ乾電池に交換してください。

ご注意

- 乾電池は、温度が5℃～35℃の環境でご使用ください。特に、夏の車内には放置しないでください。
- 使いきった乾電池は各地方自治体の指示(条例)に従って処分してください。
- 録音中、録音一時停止中、再生中、再生一時停止中、消去中、ファイル分割中及び、フォーマット中に乾電池を抜くと、ファイルが壊れる可能性があります。
- 録音中、録音一時停止中に乾電池を抜くと、録音内容は保存されません。
- 付属の乾電池はモニタ用ですので、寿命が短いことがあります。

ヘッドホン(別売品)を使用する

ヘッドホン端子に差し込んでください。ヘッドホンを差し込むと、スピーカーから音は出ません。

- 本機ではMDプレーヤーなどに付属されているリモコン付きなどの4極プラグ端子のステレオヘッドホンはご使用になれません。
- ヘッドホン(別売品)の抜き差しは停止状態で行ってください。

ステレオ外部マイク(別売品)を使用する

ステレオマイク端子に差し込んでください。ステレオ外部マイクを差し込むと、内蔵マイクははたらきません。

● 外部マイク(別売品)の抜き差しは停止状態で行ってください。

ステレオ外部マイク(別売品)

(1) HM-200

(2)タイピン型ステレオマイク

(注文番号:645 056 9692)

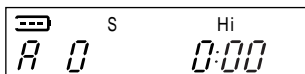
※ 別売品以外の外部マイクを使用しないでください。正常に録音できない場合があります。

操作前準備

電源を入/切にする

再生/一時停止ボタンを押します。

＊ 録音ボタンかフォルダ/リピートボタンを押しても電源が入ります。

"HELLO"と表示され、電源が入り、電源を切る前に選択していたファイル番号と再生総時間が表示されます。（レジューム機能）

再度**再生/一時停止**ボタンを2秒以上押すと、"-bYE-"と表示され、電源が切れます。

オートパワーオフ機能

● 電源が入った状態で、約15分間放置しておくと、自動的に電源が切れます。

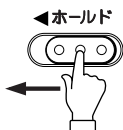
● 録音一時停止中に、約15分間放置しておくと、録音していたファイルを作成した後、電源が切れます。

レジューム機能

電源を切る前に選択していたファイル番号と、再生を停止させた位置を記憶しています。次に電源を入れたときは同じ位置で停止していますので、続きから再生を開始することができます。フォルダを切り替えるか、パソコンと接続するか、本機の電池を抜くとレジューム機能は解除されます。

誤動作を防止する（ホールド機能）

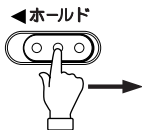
録音または再生中などに誤ってボタンを押し、動作を中断してしまうことを防ぎます。

ホールドスイッチを矢印の方向に切り替える

HOLd On

● “HOLd On”と表示され、ホールド機能がはたらきます。

● ホールド機能中に、操作ボタンを押すと、“HOLd On”と表示されるだけで各ボタンは機能しません。

2

ホールドスイッチを矢印の反対方向に切り替える

HOLd OFF

● “HOLd OFF”と表示され、ホールド機能が解除されます。

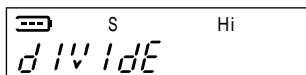
ビープ音・音声ガイドの有無を選択する

ボタンを押したときのビープ音・音声ガイドの有無を選択できます。初期設定では音声ガイドがONになっています。50ページ「各種メニューモードの設定-BEEP音設定」参照。全データを消去すると音声ガイドも消去されますのでご注意ください。40ページ参照
以降 『』は音声ガイドON時の音声です。

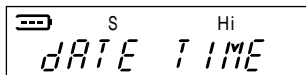
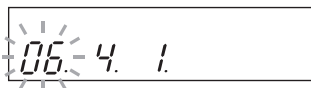
日時を設定する

録音を開始する前に、日時の設定をおこなってください。

停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す

『ファイル分割モードです』

● メニュー画面が表示されます。

スキップ/サーチボタンを押して、"dATE TIME"を表示させる

『カレンダ設定モードです』

3 再生/一時停止ボタンを押す

● 時刻設定画面が表示されます(西暦表示が点滅しています)。

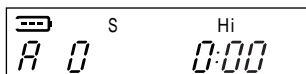
4 スキップ/サーチボタンを押して、西暦を設定し再生/一時停止ボタンを押す

● 西暦が決定し、次の月表示が点滅します。

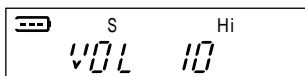
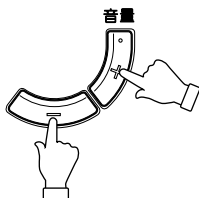
● 同様の操作で、月、日、12/24時間表示、時、分を設定してください。
「日」を設定すると時間の設定画面に切り替わり、「分」まで設定すると"dATE TIME"の表示に戻ります。

『カレンダ設定しました』

5 停止/メニューボタンを押す

S Hi
A 0 0:00

- 日時が設定され、元の停止状態に戻ります。
- 停止状態で**停止/メニュー**ボタンを押すと、現時刻が表示されます。

音量を調節する

- 録音･再生･停止中に**音量+/−**ボタンを押すと、下の画面が表示され音量を調節することができます。

- 音量レベル0〜20の範囲で調節できます。

録音する

風の強いところなど、環境によって録音状態が変わります。必ず事前に試しに録音して正常に録音されることを確認してください。

録音時間について

録音可能時間は録音モード(音質レベル)によって変わります。録音モードには、**HS**(ハイクオリティスーパーモード)・**HQ**(ハイクオリティモード)・**SP**(スタンダードモード)・**LP**(ロングモード)の4種類があり、初期設定では**SP**(スタンダードモード)になっています。

録音モードと録音可能時間

音質を優先される場合はHS、通常の場合はHQやSP、録音時間優先の場合はLPをお選びください。

HS・HQ・SP選択時はステレオ録音、LP選択時はモノラル録音になります。

録音モード	ICR-S177M	ICR-S178M
HS	約4時間20分	約8時間40分
HQ	約8時間40分	約17時間30分
SP	約17時間20分	約35時間10分
LP	約34時間50分	約70時間30分

ちょっとこれを!

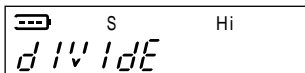
- **録音可能時間は、お買い上げ時の何も録音データなどが入っていない状態(音声ガイドデータは除く)で、1つの録音モードで最初から最後まで録音した場合の最大時間です。**
- デジタルボイスレコーダーは、会話などの音声録音を主目的としたものであり、音楽を録音した際 音楽の種類や音量／環境によって、音割れなどが発生する場合があります。本格的な音楽録音をする際は、専用の音楽録音機器をご使用ください。

⑦ 録音モードを選択する

1

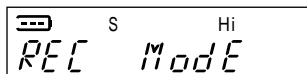
停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す

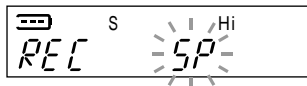
『ファイル分割モードです』

S Hi
dIVIdE

● メニューモードに切り替わります。

2

スキップ/サーチボタンを押して、“REC/ModE”を表示させる

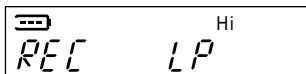
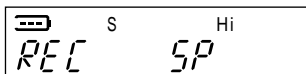
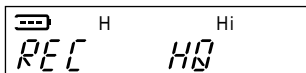
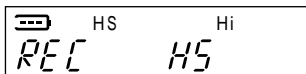
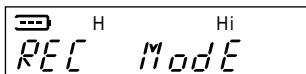
『録音設定モードです』

3

再生/一時停止ボタンを押す

● 録音モード選択状態になります。（現在選択されている録音モードが点滅しています。）

基本操作

4 スキップ/サーチボタンを押して、任意の録音モードを表示させる

ロングモード

Hi
REC LP

スタンダードモード

ハイクオリティモード

ハイクオリティスーパーモード

5 再生/一時停止ボタンを押す

- 録音モードが確定し、“REC ModE”の表示に戻ります。

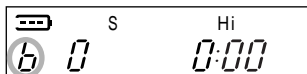
『○○モードに設定しました』

6 停止/メニューボタンを押す

H
Hi
A 0 0:00

- 元の停止状態に戻ります。

録音するフォルダを選択する

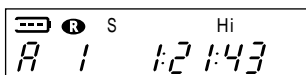
フォルダ/リピートボタンを押して、録音するフォルダ(A、b、C、d、M)を選択する

- A、b、C、d、Mが切り替わります。
- Mフォルダはミュージックフォルダですので、ボイスデータは録音できません。Mフォルダを選択して録音した場合は、自動的にAフォルダに録音されます。
  Aフォルダがいっぱいのときは録音されません。

基本操作

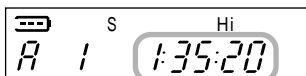
ご注意

各録音モードの最大録音時間とは別に、**本機で録音できる**最大ファイル数は1フォルダにつき99ファイルとなります。録音残時間が残っていても、100以上のファイルを録音することはできません。100ファイル目を録音しようとすると"FILE FULL"と表示されます。空いているフォルダに切り替えるか、不要なファイルを消去してください。

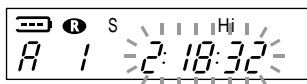
③ 録音を開始する

録音ボタンを押します。

"R" が表示され、録音が開始されます（以降、録音モードはスタンダードモードで説明します）。
現在録音しているファイル番号と録音可能時間を表示します。

録音を停止するには

停止/メニューボタンを押します。

再生総時間が表示され、録音したファイルの先頭に戻ります。

録音を一時停止するには

録音ボタンを押します。

録音可能時間が点滅します。
再度**録音**ボタンを押すと、録音が再開します。

録音内容をモニターするには

ヘッドホン端子にヘッドホンを差し込みます。その状態で、23ページからの手順にしたがって録音をすると、録音している内容をヘッドホンから聞くことができます。

録音(マイク)感度の設定

本機では録音感度(HI/LO)の設定ができます。
状況に合わせて感度の切り替えをおこなってください。
(49ページ「各種メニューの設定-MIC ModE(マイク感度)」参照)

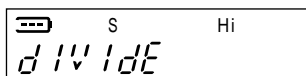
ご注意

音量+/－ボタンを押すと、モニター中にヘッドホンから聞こえてくる音量を調節することができますが、ボタンを押す音が録音されてしまう場合があります。録音中はできるだけ操作を行わず、安定した場所に固定した状態で録音してください。

VAS:音声起動録音設定について

VASとは、録音状態で音声を感知したときに自動的に録音を開始し、音声が一定のレベル以下になると約3秒後に録音が自動的に一時停止するという機能です。

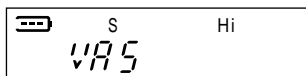
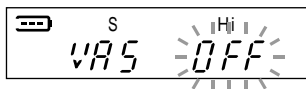
1 停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す

『ファイル分割モードです』

● メニューモードに切り替わります。

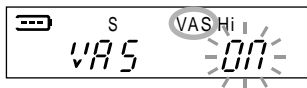
2 スキップ/サーチボタンを押して、VASを表示させる

『VAS設定モードです』

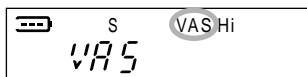
S　Hi

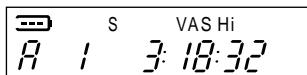
VAS

3 再生/一時停止ボタンを押す

● VAS設定画面を表示します(OFFが点滅しています)。

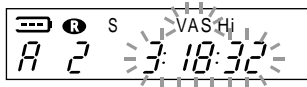
4 スキップ/サーチボタンを押して、“ON”を表示させる

● VASの文字を表示します。

5 再生/一時停止ボタンを押す

『VAS ONに設定しました』

● VAS設定がONになり、VASの表示に戻ります。

6 停止/メニューボタンを押す

● 元の停止状態に戻ります。

7 録音ボタンを押す

一時停止
録音

● 録音待機状態(点滅)になり、音声を感知すると自動的に録音が開始されます。

マイクセンサーの感知レベル

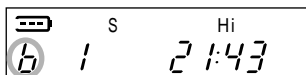
VAS機能をONに設定している場合は、録音中に**スキップ/サーチ**ボタンを押して、マイクセンサーの感知レベルを設定することができます。
VASの感知レベルは「VAS　1〜VAS　5」の範囲で、数値が画面表示されます。数値が高い方が小さな音でも起動しやすくなりますが、雑音の多いところでは、逆に録音が止まらない場合があります。ご使用の目的に合わせてレベルを調整してください。

● 小さな音声のときは、この機能が働かない場合があります。

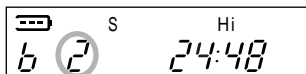
※ 録音中にボタンなどを押すと、その音が録音されてしまう場合がありますので、ご注意ください(外部マイクを使用すると、ボタンを押す音などが録音されにくくなります)。

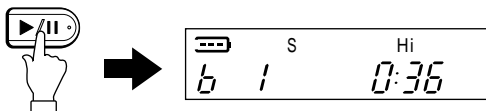
再生する

1 再生するファイルを選択する

1 **フォルダ/リピートボタンを押して、再生するファイルが入っているフォルダ(A、b、C、d、M)を選択する**

● A、b、C、d、Mが切り替わります。

2 **スキップ/サーチボタンを押して、再生するファイルを選択する**

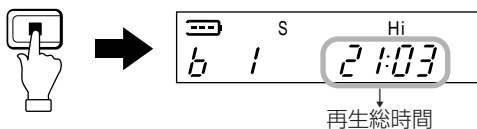
基本操作

再生を開始する

再生/一時停止ボタン押します。

再生を開始します。

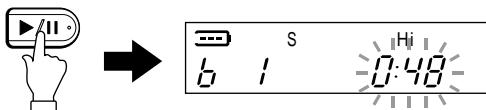
ご注意

- 容量の大きいファイルは、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。ファイル数が極端に多い場合も、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかる場合があります。
- MP3、WMAファイルによっては、再生時間表示と実際の再生時間が異なる場合があります。
- MP3、WMA形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。

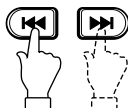
再生を途中で停止するには

停止/メニューボタンを押します。

再生していたファイル番号と再生総時間が表示されます。

再生を一時停止するには

再生/一時停止ボタンを押します。

現在再生しているファイルの再生経過時間を点滅します。
再度**再生/一時停止**ボタン押すと、再生を再開します。

再生を早送り・早戻しするには

再生中に、スキップ/サーチボタン(|◀◀・▶▶|)を2秒以上押します。

現在再生しているファイルを早送り・早戻しします。

■ 早送り(|◀◀)
ファイルの最後まで早送りすると、次のファイルの先頭から早送り再生を続けます。
最終ファイルの早送り再生終了後、停止状態になります。

■ 早戻し(▶▶|)
ファイルの先頭まで早戻しすると、そのひとつ前のファイルの最後から早戻し再生を続けます。
先頭のファイルの早戻し再生終了後、**スキップ/サーチボタン**(▶▶|)から指をはなすと先頭のファイルの再生を開始します。

早送り･早戻し再生中､ファイルの音声は出力されます(再生一時停止時に早送り･早戻し再生をした場合は､音声は出力されません)。

- **早送り･早戻しは5段階に速度が変わります。**
- **スキップ/サーチボタン(⏮･⏭)から指をはなします。**

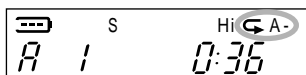
  早送り･早戻し再生を解除します。

ファイル送り･戻しするには

再生､再生一時停止または停止中にスキップ/サーチボタン(⏮･⏭)を押します。

リピート機能

リピート機能を使って、ファイルの中の特定の区間を繰り返し再生します。

再生中に、リピート再生したい場所の開始地点でフォルダ/リピートボタンを1回押す

- A地点(リピート開始地点)が決定され、A−を表示します。
- 再生一時停止中にもこの操作は可能です。

次に終了地点でフォルダ/リピートボタンをもう1回押す

- B地点(リピート終了地点)を決定し、A−Bを表示します。これで特定の区間(A地点−B地点)をリピート再生します。
- 再生一時停止中にもこの操作は可能です。
- リピート再生中に、**フォルダ/リピート**ボタンを押すと、リピートを解除します。
- A−Bリピート設定中に、A地点決定後、そのまま再生中のファイルの最後まで到達した場合、そのファイルの最後をB地点と決定し、リピートを実行します。

表示する

停止状態で**停止/メニュー**ボタンを押すと、画面表示が以下のように切り替わります。

現在位置がVOICE(A, b, C, d)フォルダ	
再生対象ファイル有	再生対象ファイル無
再生総時間 1:15:20 ▼ 現時刻 06. 4. 1. 12:00 ▼ 録音残時間 REM 2:15:20 ▼ 録音日時 06. 4. 1. 10:00 R が点滅します	再生総時間 0:00 ▼ 現時刻 06. 4. 1. 12:00 ▼ 録音残時間 REM 3:36:03

現在位置がMUSIC(M)フォルダ	
再生対象ファイル有	再生対象ファイル無
再生総時間 4:32 ▼ 現時刻 06. 4. 1. 12:00 ▼ 再生経過時間 0:32	再生総時間 0:00 ▼ 現時刻 06. 4. 1. 10:14 ▼ 再生経過時間 0:00

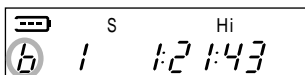
消去する

「ファイルを消去する」、「フォルダ内の全てのファイルを消去する」で消去できるのは,本機で再生可能なMP3 ・WMA ファイルのみです。
他の形式のファイルは消去することはできません。また、MP3 ・WMA ファイルも再生可能なフォルダに入っていない場合、消去することはできません。

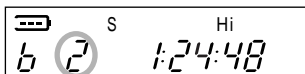
ファイルを消去する

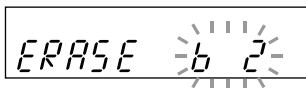
1

フォルダ
リピート

フォルダ/リピートボタンを押して、消去するファイルが入っているフォルダ(A、b、C、d、M)を選択する

● A、b、C、d、Mが切り替わります。

2

スキップ/サーチボタンを押して、消去したいファイルを選択する

● 次のステップ**3**で消去ボタンを押した後でも、消去するファイルを選択できます。

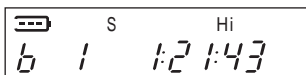
3 停止状態で、消去ボタンを押す

『ファイルを消去します』

- "ERASE"を表示し、消去するファイル番号と、そのフォルダ名が点滅します。
- このとき**スキップ/サーチ**ボタンを押して、消去するファイルを選択できます。
- 約5秒間放置されると、元の停止状態に戻ります。

ご注意

- 手順3で、消去ボタンを2秒以上を長押しすると、フォルダ内の全てのファイルを消去するモードになりますのでご注意ください
  次ページ「フォルダ内の全てのファイルを消去する」手順2参照

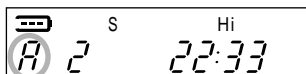
4 再度消去ボタンを2秒以上押す

『消去しました』

- 選択したファイルが削除され、停止状態に戻ります。
- 表示は消去したファイルの1つ前のファイルを表示します。

フォルダ内の全てのファイルを消去する

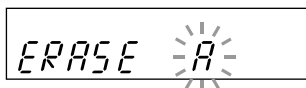
1

フォルダ/リピートボタンを押して、消去するフォルダ(A、b、C、d、M)を選択する

S Hi
A 2 22:33

- A、b、C、d、Mが切り替わります。
- 次のステップ**2**で消去ボタンを押した後でも、消去するフォルダを選択できます。

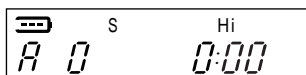
2

停止状態で、消去ボタンを2秒以上押す

『フォルダ内のファイルを消去します』

ERASE A

- "ERASE"を表示し、消去するフォルダ名が点滅します(約5秒間)。
- このとき**スキップ/サーチ**ボタンを押して、消去するフォルダを選択できます。
- 5 秒間放置されると、元の停止状態に戻ります。

3 **再度消去ボタンを2秒以上押す**

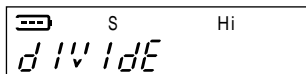
『消去しました』

● フォルダ内のすべてのファイルが削除され、停止状態に戻ります。

ファイル削除操作を解除するには、**停止/メニュー**ボタンを押します。

全データを消去する(フォーマットする)

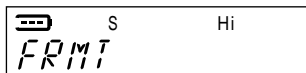
ご注意

フォーマットをすると音声ガイドも消去されます。音声ガイドが必要な場合は、付属のCD-ROMのソフトウェアを実行して、再度音声ガイドをダウンロードしてください。(61ページ「音声ガイドをダウンロードする」参照)

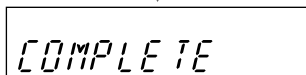
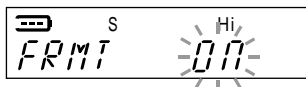
1 **停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す**

● メニューモードに切り替わります。

2

スキップ/サーチボタンを押して、“FRMT”を表示させ、再生/一時停止ボタンを押す

S Hi
FRMT

● フォーマット画面を表示します（“OFF”が点滅しています）。

3

スキップ/サーチボタンを押して“On”を表示させ、再生/一時停止ボタンを押す

COMPLETE

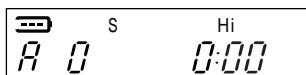
● 「FRMT」→「COMPLETE」が表示され、メモリ内の全データが消去されます。

4

停止/メニューボタンを押す

S Hi
A 0 0:00

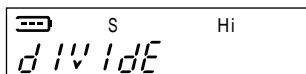
● 元の停止状態に戻ります。

基本操作

タイマーを使用する

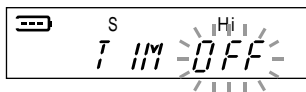
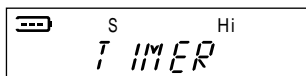
1 アラームを設定する

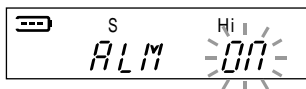
指定時間にお好みのファイルを再生する(またはアラーム音を鳴らす)ことができます。あらかじめ再生したいファイルをALARMフォルダに入れておいてください(78〜83ページを参照ください)。ALARMフォルダ内にファイルがない場合は、アラーム音を10秒間鳴らします。

1 停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す

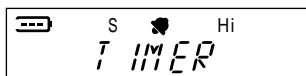
『ファイル分割モードです』

● メニューモードに切り替わります。

2 スキップ/サーチボタンを押して“TIMER”を表示させ、再生/一時停止ボタンを押す

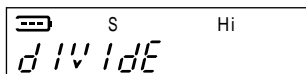
『タイマー設定モードです』

● タイマー画面を表示します(“OFF”が点滅しています)。

スキップ/サーチボタンを押して“ALM On”を表示させ、再生/一時停止ボタンを押す

- アラーム時刻画面が表示されます。

スキップ/サーチボタンを押して、アラーム時刻を設定する

『アラームを設定しました』

- 時、分を設定し、**再生/一時停止**ボタンを押すと、“TIMER”の表示に戻ります。停止/メニューボタンを押して、元の停止画面に戻ってください。
- 指定時間になると、ALARMフォルダ内のファイルを再生します。

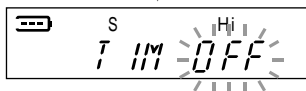
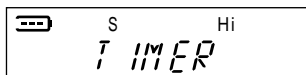
② 予約録音する

指定時間に録音を開始することができます。録音したファイルは指定したフォルダに作成されます。

停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す

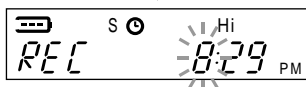
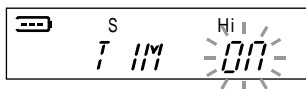
『ファイル分割モードです』

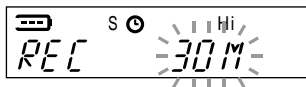
● メニューモードに切り替わります。

スキップ/サーチボタンを押して“TIMER”を表示させ、再生/一時停止ボタンを押す

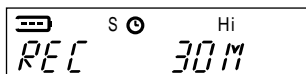
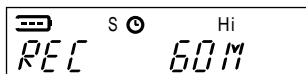
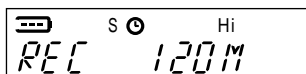
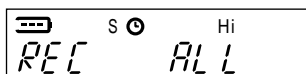
『タイマー設定モードです』

● タイマー画面を表示します（“OFF”が点滅しています）。

3

スキップ/サーチボタンを押して“TIM On”を表示させ、再生/一時停止ボタンを押す

● 予約録音時刻設定状態になります。

スキップ/サーチボタンと再生/一時停止ボタンを使って、予約録音時刻を設定する

● 予約録音時刻（時、分）を設定し、**再生/一時停止**ボタンを押すと、録音時間設定状態になります。

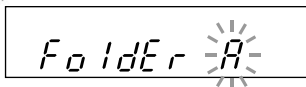
5 スキップ/サーチボタンと再生/一時停止ボタンを使って、録音時間を設定する(録音時間はおおよその目安となります)

30分

1時間

2時間

ALL*

- 30M、60M、120M、ALL*から選択します。

ALL＊：**停止/メニュー**ボタンを押すか、録音時間がなくなるまで録音します。

スキップ/サーチボタンと再生/一時停止ボタンを使って、録音したファイルを作成するフォルダを指定する

『予約録音を設定しました』

FoldEr A

- フォルダを選択し、**再生/一時停止**ボタンを押すと、"TIMER"の表示に戻ります。**停止**ボタンを押して、元の停止画面に戻ってください。
- 指定時間になると、録音が自動的に開始され、録音したファイルが指定したフォルダ内に作成されます。

基本操作

ご注意

- *5* で録音時間にALLを選択したときは、乾電池の残量が十分にあることを確認してください。
- タイマー録音をするときは、乾電池の残量が十分にあることを確認してください。

各種メニューの設定

共通操作

1. 停止状態で**停止/メニュー**ボタンを2秒以上押します。
   ● メニュー画面が表示されます。
2. **スキップ/サーチ**ボタンを押して設定したいモードを選択し、**再生/一時停止**ボタンを押すと、それぞれの設定画面が表示されます。
   ● **スキップ/サーチ**ボタンを押して、任意の設定を選択し、**再生/一時停止**ボタンを押すと設定が決定され、メニュー表示画面に戻ります。**停止/メニュー**ボタンを押すと、元の停止画面に戻ります(設定の変更が反映されています)。
   ● 設定中に、**停止/メニュー**ボタンが押された場合、設定をキャンセルして元の停止状態に戻ります。

各種モードと設定できる内容を以下に示します。

■ dIVIdE(ファイル分割)

ファイル分割機能を活用することにより不要な部分のカットや必要な部分の抽出ができます。

🔊『ファイル分割モードです』

dIVIdE y-n

dIVIdE

- y:現在の停止位置またはファイル分割を実行します。
- n:メニュー画面に戻ります。

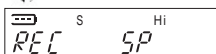
● 一度ファイル分割すると、分割前の状態に戻せません。ファイル分割する前にパソコンでバックアップをとっておいてください。

● 録音時間の短いファイルまたはMUSICフォルダ内のファイルはファイル分割できません。
● 分割した部分が前後のファイルで重複します。重複する時間は…

HS…約1秒，HQ…約2秒
SP…約4秒，LP…約8秒

■ **REC ModE(録音モード)**

録音モードを設定します

『録音設定モードです』

REC

・ **HS** :ハイクオリティスーパーモード
・ **HQ** :ハイクオリティモード
・ **SP** :スタンダードモード
・ **LP** :ロングモード

● 23ページ「録音モードを選択する」参照。

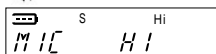
■ **MIC ModE(マイク感度)**

録音(マイク)感度(高/低)を設定します

『マイク感度設定モードです』

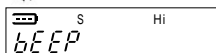
MIC

・ **HI**(感度:高)
・ **LO**(感度:低)

基本操作

■ bEEP（BEEP音設定）

音声ガイド･警告音（BEEP音）のON/OFFを設定します

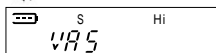
『BEEP音設定モードです』

S　Hi
bEEP

bEEP

- **OFF**：音声ガイド･警告音（BEEP音）を解除します。
- **VS**：音声ガイドを使う時に設定します。
  （※ご注意：フォーマットをすると音声ガイドは消えます。）
- **ON**：BEEP音を鳴らします。

■ VAS（VAS設定）

VASのON/OFFを設定します

『VAS設定モードです』

VAS設定

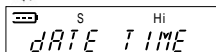
- **OFF**：VAS機能を使用しません。
- **ON**：VAS機能を使用します。

● 28ページ「VAS：音声起動録音設定について」参照。

■ dATE TIME（カレンダ設定）

カレンダ設定（年月日･時分）をおこないます

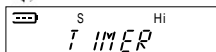
『カレンダ設定モードです』

S　Hi
dATE TIME

YY、MM、DD、（12/24時間表示）、HH、MM

● 19ページ「日時を設定する」参照。

■ TIMER(タイマー設定)

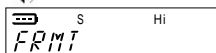
タイマー再生(ALARM)設定、タイマー録音の設定をおこないます

🔊『タイマー設定モードです』

- **OFF**:タイマー設定を解除します。
- **ALM ON→HH:MM**
  :設定した時間にALARMフォルダ内のファイル(フォルダ内に最初に登録されたMP3 かWMAファイル)を再生します。
  ファイルがない場合はALARM音(10秒)を鳴らします。
- **TIM ON**:**→HH:MM→録音する時間→FoldER(録音フォルダ)**:設定した時間に録音を開始し、設定した録音フォルダにファイルを保存します。

基本操作

■ FRMT(フォーマット)

内蔵メモリをフォーマット(全データ消去)することができます

🔊『メモリのフォーマットをおこないます』

FRMT

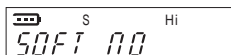
- **OFF**:フォーマットを取りやめます。
- **ON**:内蔵メモリ中の全データを消去します。
- ● 40ページ「全データを消去する」参照。

音声ガイドについて

フォーマットをすると音声ガイドも消去されます。音声ガイドが必要な場合は、付属のCD-ROMのソフトウェアを実行して、再度音声ガイドをダウンロードしてください。(61ページ「音声ガイドをダウンロードする」参照)

■ SOFT no(バージョンナンバー)

ファームウエアのバージョンを表示します。

S Hi
SOFT NO

SOFT no

パソコンに接続して使う

USB接続時は、パソコンから電源供給を受けるため、乾電池は消耗されません。

動作環境

本機をパソコンに接続して音楽データを取り込む場合、以下のようなパソコン環境が必要になります。

■ Windows搭載パソコン ■

NEC PC98-NX以外のNEC PC98シリーズ・Macintoshなど、Windowsを搭載していないパソコンでは動作保証いたしませんのでご注意ください。

対応機種	IBM PC/AT互換機
対応OS（日本語版）	Windows XP Professional Windows XP Home Edition Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition（Me） Windows 98 Second Edition Windows 98
USBポート	本製品接続時に必要
サウンドボード	Windows互換の16-bitをサポート
その他	スピーカーまたはヘッドホンが必要

ご注意

- 以下の環境での動作保証はいたしません。
  ーWindows 各OSからのアップグレード環境
  ーWindows 95、Windows NT
  ーWindows 各OSのデュアルブート環境
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンド※などのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
  ※ サスペンド：CPU、LCD、HDDなどを停止し、電力消費量を極限まで減らしている状態。スリープと異なり、CPUは停止しているがROMへの電力供給はされている状態。
- Windows 98SE/98は専用USBドライバが必要です。この専用USBドライバは付属CD-ROMに入っています。

Windows 98SE/98のUSBドライバのインストール

ここではお手持ちのパソコンに、Windows 98SE/98専用のUSBドライバをインストールする方法を説明します。Windows XP/2000/Meをご使用の場合は、Windows標準ドライバが動作しますので、56ページを参考に本機をパソコンのUSBポートに接続してください。

※ 本機を接続したときに「'（ファイル名）' が見つかりません。」と表示された場合、WindowsシステムのCD-ROMを挿入して、必要なファイルをインストールしてください。

パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

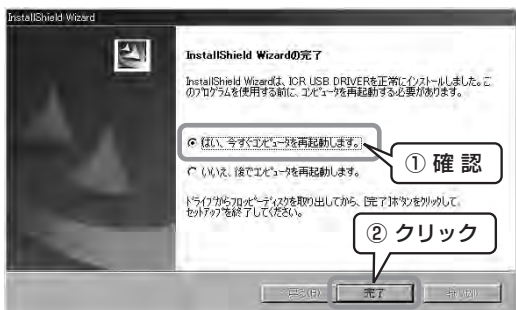
ご注意

- インストールするときは、Windowsの他のアプリケーションは終了しておいてください。

2 ドライバをパソコンにインストールする

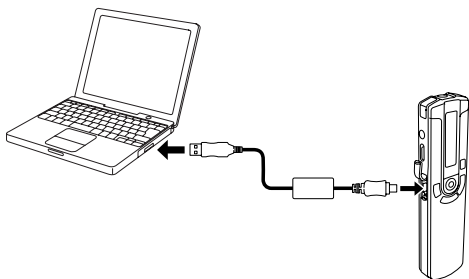
1. 付属CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入すると、自動的に**[ステレオデジタルボイスレコーダーセットアップ]**画面が起動します。自動的に起動しない場合は、CD-ROM内の**[Setup.exe]**をダブルクリックしてプログラムを起動してください。

2. **[ステレオデジタルボイスレコーダーセットアップ]**画面から、**[USBドライバ]**をクリックします。
3. 画面の指示にしたがい、**[次へ]**をクリックしてください。

4. インストールが終了すると、以下の画面が表示されます。**[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]** が選択されていることを確認し、**[完了]**をクリックしてパソコンを再起動してください。

これで、USBドライバがインストールされました。
次ページを参考に本機をパソコンに接続してください。

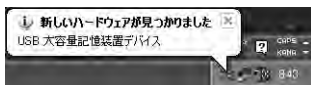
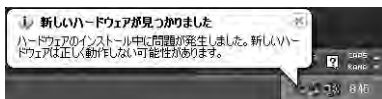
応用操作

本機をパソコンに接続する

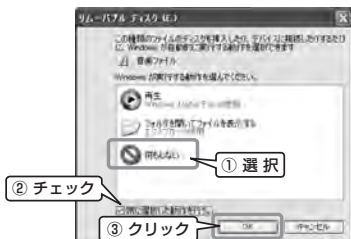
本機のUSB端子を直接パソコンのUSBポートにつなぐことができます。USB保護カバーを外して、挿入方向に気をつけて接続してください。

ご注意

- USBハブ、またはUSB延長ケーブル（付属ケーブル以外）をご使用の場合は動作保証いたしません。必ず、付属の専用USB接続ケーブルのみで接続してください。
- パソコンと接続する場合は、本機の電源を切ってから接続してください。
- パソコンとの接続時、本機に乾電池がなくても動作します。
- 接続された本機を抜き差しする時は、USB端子付近を持って抜き差ししてください。
- パソコンに接続中は本機を操作できません。
- 使用するパソコンにはじめて接続する場合は、まれにリムーバブルディスクとして認識しない場合があります。その際は再度接続してください。
- パソコンにUSBポートがある場合（前面、背面など）は、USBポートによっては正しく認識されないことがあります。その際は、別のポートに本機を接続してください。

はじめて本機をパソコンに接続すると

以下のような接続を表すメッセージが複数回表示されます。しばらくしてメッセージが消えるまで本機を取り外さないでください。(画面はWindows XPです)

本機を接続したときに以下のメッセージが表示された場合は、次ページ「本機をパソコンから取り外す」を参考に本機をパソコンから一度取り外し、再接続してください。

本機を接続したときにパソコンに何も表示しない場合は、89ページの「本機が正常に認識されているか確かめるには」を確認してください。

Windowsが実行する動作を選ぶ

Windows XPのみ接続後、以下の画面が表示されます。
Windows 2000/Me/98SE/98に関しては、この操作はありません。

お客さまの使用環境に合わせて設定してください。
本書の例では［何もしない］を選択後、**［常に選択した動作を行う。］**にチェックし、**［OK］**をクリックしています。
これで、パソコンとの接続は完了です。

パソコンに接続している間、本機は以下のような画面になり、どの操作ボタンを押しても反応しません。

［パソコン接続時の本機表示］ ［パソコンとの通信時の本機表示］

-PC-　　PC ACCESS

本機をパソコンから取り外すときは、下記の「本機をパソコンから取り外す」の作業を必ずおこなってください。
通信表示中は本機をパソコンから抜かないでください。

本機をパソコンから取り外す

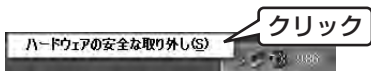
本機が通信中の表示になっていないことを確認してから下記の手順にしたがって取り外してください。

- **Windows98SE/98をご使用の場合、本機をそのままパソコンから取り外してください。**
- **Windows XP/2000/Meをご使用の場合、次の手順で取り外してください。**
  OSによって若干画面表示が異なりますが、ご了承ください。
  （以降、説明で使用する画面はWindowsXPとなります）

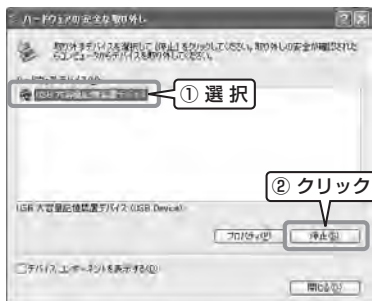
1 [タスクトレイ]のアイコンをクリックする

Windows画面右下の**[タスクトレイ]**のアイコンを右クリックします。

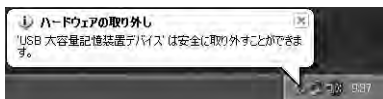
※ アイコンが表示されない場合は、Windowsのヘルプを参照してください。

2 表示された「ハードウェアの…」をクリックする

3 デバイスを選択し、[停止]をクリックする

[USB大容量記憶装置デバイス]を選択し、**[停止]**をクリックします。

応用操作

停止するデバイスを確認し、[OK]をクリックする

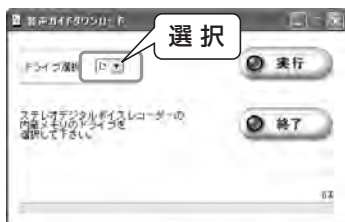
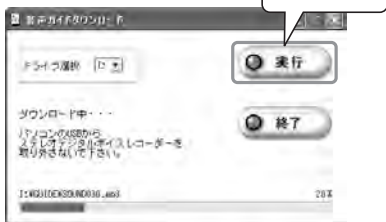
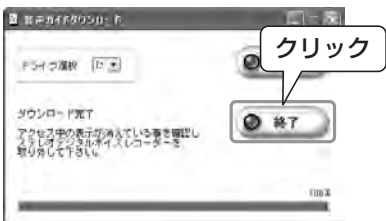
[SANYO IC Recorder USB Device]が一覧内に表示されていることを確認し、**[USB大容量記憶装置デバイス]**を選択して、**[OK]**をクリックします。

本機が取り外し可能な状態になると、以下の画面が表示されます(Windows XPのみ)。**[×]**をクリックするか、しばらくすると画面が消えます。

本機をパソコンから取り外す

パソコンのUSBポートから本機を取り外します。

音声ガイドをダウンロードする

本機で内蔵メモリをフォーマットした場合、または誤って音声ガイドファイルを消去した場合は、以下の手順にしたがって音声ガイドのダウンロードをおこなってください。

1. 本機とパソコンをUSB接続します。（56ページ「本機をパソコンに接続する」参照）
2. 付属CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入すると、自動的に**[ステレオデジタルボイスレコーダーセットアップ]**画面が起動します。自動的に起動しない場合は、CD-ROM内の**[Setup.exe]**をダブルクリックしてプログラムを起動してください。
3. **[ステレオデジタルボイスレコーダーセットアップ]**画面から、**[音声ガイドダウンロード]**をクリックします。
4. ダウンロード先に、本機の内蔵メモリのドライブを選択します。

5. **[実行]** ボタンをクリックします。音声ガイドファイルのダウンロード中にパソコンのUSBポートから本機を抜かないでください。

6. **「ダウンロード完了」**のメッセージが表示されたら、**[終了]** ボタンをクリックし、ソフトウェアを終了させてください。

※ 途中でエラー表示がされる場合は、そのエラー内容を確認し、再度ファイルのダウンロードを実行してください。

ご注意

音声ガイドファイルのダウンロード中に、下記の事項はおこなわないでください。

- 本機をパソコンから取り外す。
- CD-ROMドライブのトレーをオープンする。
- パソコンの電源を切る。

1 エクスプローラを起動する

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
（説明で使用する画面はWindows XPとなります。）

[スタート]メニューから**[マイ コンピュータ]**、またはディスクトップ上の**[マイ コンピュータ]**を右クリックして、表示されるメニュー内の**[エクスプローラ]**を選択してクリックします。

これで、**エクスプローラ**が起動します。

リムーバブルディスクのフォルダを表示する

本機をパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラでマイコンピュータ内に、**リムーバブルディスクとして表示**されます。
この**[リムーバブルディスク]**をクリックすると、**内蔵メモリ**に記録された内容を表示することができます。本機が正常に認識されると以下のように表示します。

各フォルダの説明は、84ページ「本機のフォルダ/ファイルについて」をご覧ください。

ちょっとこれを！

- 複数のリムーバブルディスクが表示される場合は、本機を接続したときに新たに表示されるリムーバブルディスクが本機であることを表します。
  本機をパソコンから一度取り外し、再接続してご確認ください。
- 本機をパソコンに接続したときにリムーバブルディスクが表示されない場合は、89ページ「本機が正常に認識されているか確かめる」を参照し、確認作業をおこなってください。

録音した音声データをパソコンに保存する

ここでは、Windowsのエクスプローラを使用して本機で録音した音声ファイルをパソコンに保存する方法について説明します。

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
(説明で使用する画面はWindows XPとなります。)

本機をパソコンのUSBポートに接続する

56ページ「本機をパソコンに接続する」参照。

マイ コンピュータを開く

[スタート]メニューから**[マイ コンピュータ]**をクリックします。または、デスクトップ上の**[マイ コンピュータ]**をダブルクリックします。

応用操作

3 リムーバブルディスクを開く

[マイ コンピュータ]内の[リムーバブルディスク]をダブルクリックします。

4 VOICEフォルダを開く

[リムーバブルディスク]内の**VOICE_IC**フォルダをダブルクリックします。

5 A・B・C・Dいずれかのフォルダを開く

[VOICE_ICフォルダ]内のA・B・C・Dフォルダから、パソコンに保存したい音声ファイルが入っているフォルダをダブルクリックします。

保存したい音声ファイルをコピーする

保存したい音声ファイルに重なるようにマウスポインタを移動させ、その状態で右クリックします（複数のファイルを一度にコピーするときはCtrlキーを押しながらマウスポインタを移動させ、ファイルをクリックします）。メニュー画面が表示したら、**[コピー]**（本機の音声ファイルを消去してパソコンに保存したいときは**[切り取り]**）を選択してクリックします。

これでファイルをコピーする準備ができました。

7 保存先のフォルダを開く

[マイドキュメント]に保存する場合：**[スタート]**メニューから**[マイドキュメント]**をクリックします。または、デスクトップ上の**[マイドキュメント]**をダブルクリックします。

応用操作

音声ファイルを保存する

[編集]をクリックし、メニュー画面が表示したら**[貼り付け]**を選択してクリックします。

コピーが開始され、同じ名前のファイルが作成されたら保存完了です。

<コピー中の表示>

本機をパソコンから取り外す

58ページ「本機をパソコンから取り外す」参照。

音楽CDの曲をパソコンに取り込む

ご注意

- お客様が作成したMP3･WMA形式ファイルは個人として楽しむ他は著作権上、権利者に無断で使用することができませんのでご注意ください。

ここでは、Microsoft Windows Media Playerを使って音楽CDの曲をWMA(またはMP3)形式に変換してパソコンに取り込む方法について説明します。

操作の方法について詳しくは、Windows Media Playerのオンラインヘルプをご覧ください。

※ **OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。(説明で使用する画面はWindows XP/Windows Media Player9の画面となります。)**

※ お使いのパソコン環境によっては、Windows Media Player使用中にダイアルアップ接続画面が表示される場合がありますが、その場合はインターネットに接続してください。

※ Windows Media Player10につきましては、弊社Webサイト"http://www.sanyo-audio.com/support/icr/index.html"のサポートページに各種情報を掲載していますので、そちらを参照してください。

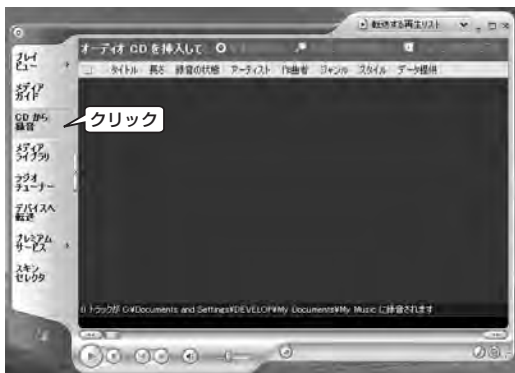
- **Windows Media Playerの入手方法の詳細は**
  http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/をご覧ください。

1 Windows Media Playerを起動する

[スタート]メニューから**[すべてのプログラム]－[Windows Media Player]**を選択して、Windows Media Playerを起動します。

応用操作

[CDから録音]をクリックする

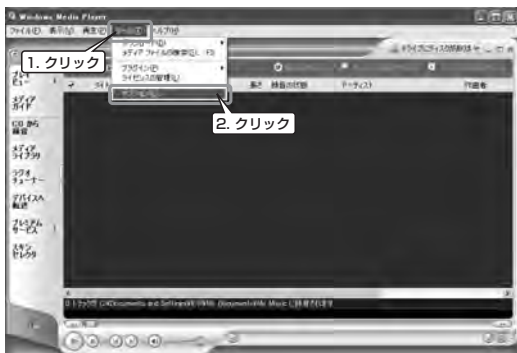
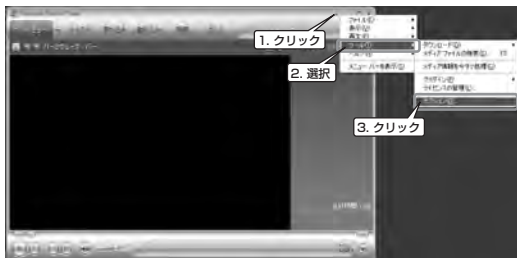
- Windows Media Player 7.1上の表示：**[CDオーディオ]**
- Windows Media Player XP上の表示：**[CDからコピー]**
- Windows Media Player 10上の表示：**[取り込み]**

音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに挿入する

お使いのパソコンがインターネット接続環境にある場合、自動的にインターネットから音楽CDの曲情報を入手して表示します。表示されない場合は**[アルバム情報の検索]**をクリックしてください。

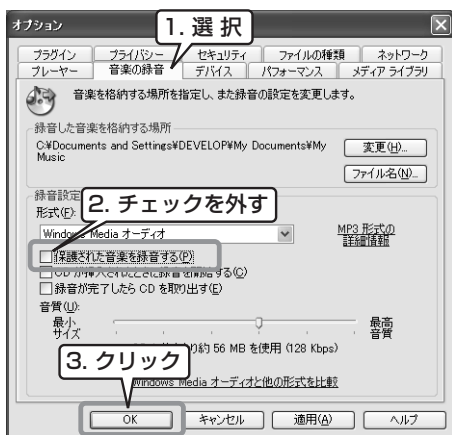
インターネットに接続していない場合や、CDの種類によっては曲情報が表示されない場合もあります。

- Windows Media Player 7.1上の表示：**[名前の取得]**
- Windows Media Player XP上の表示：**[名前の取得]**
- Windows Media Player 10上の表示：**[アルバム情報の検索]**

[ツール]－[オプション]とクリックする

画面上部のメニューから**[ツール]－[オプション]**とクリックし、オプション画面を表示させます。

● Windows Media Player 10の場合：下図のようにWindows Media Playerの画面右上にある ▼ ボタンをクリックし、表示されたメニューから**[ツール]－[オプション]**をクリックします。

5 [音楽の録音]タブより、[保護された音楽を録音する]のチェックを外す

チェックを外した後、**[OK]**をクリックしてください。

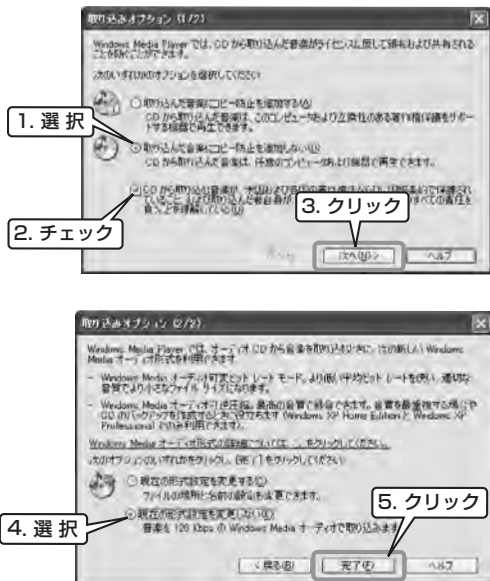
- Windows Media Player 7.1の場合：**[CDオーディオ]**タブより、**[個人用の著作権管理を有効にする]**のチェックを外します。
- Windows Media Player XPの場合：**[音楽のコピー]**タブより、**[コンテンツを保護する]**のチェックを外します。
- Windows Media Player 10の場合：**[音楽の取り込み]**タブより、**[取り込んだ音楽を保護する]**のチェックを外します。

※ Windows Media Plyaer 10をご使用の場合、**[音楽の取り込み]**より、形式の項目を**[MP3]**に設定していただくと、MP3形式で音楽を取り込むことができます。

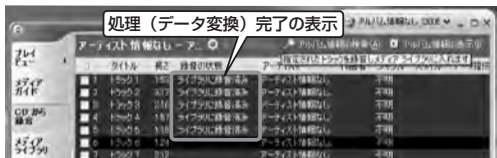
6 パソコンに取り込みたい曲を選択する

パソコンに取り込みたい曲をチェックして、**[音楽の録音]**をクリックします。

- Windows Media Player 7.1上の表示：**[音楽のコピー]**
- Windows Media Player XP上の表示：**[音楽のコピー]**
- Windows Media Player 10上の表示：**[音楽の取り込み]**

応用操作

※パソコンに音楽を録音する（取り込む）際、下記のような画面が表示される場合があります。その際は、画面通りチェックをつけて**[完了]**をクリックしてください。

● 上記チェック項目「現在の形式設定を変更しない」下部にある、「音楽を XXX kbps の XXXXXX で取り込みます」のXXの部分は、手順5で指定した設定により表示が異なります。

取り込み(データ変換)が開始される

選択した曲がすべて[ライブラリに録音済み]と表示されたら、取り込み終了です。

- Windows Media Player 7.1上の表示：[ライブラリにコピー済み]
- Windows Media Player XP上の表示：[ライブラリにコピー済み]
- Windows Media Player 10上の表示：[ライブラリに取り込み済み]

以上で、CDの内容がWMA(またはMP3)形式に変換されてパソコンに取り込まれました。

パソコンのデータを本機に転送する

ここでは、Windowsのエクスプローラを使用してWMA（または MP3）形式の音楽ファイルを本体に転送する方法について説明します。

また、Microsoft Windows Media Playerを使用してWMA（またはMP3）ファイルを本機に転送することもできます。操作の方法について詳しくは、弊社Webサイト "http://www.sanyo-audio.com/support/qa/icr/link/wmp_device.html" のサポートページやWindows Media Playerのオンラインヘルプをご覧ください。

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。（説明で使用する画面はWindows XPとなります。）

● **Windows Media Playerの入手方法の詳細は**
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/をご覧ください。

ご注意

● DRM付き（セキュリティ保護されている）WMAファイルは本体で再生することができません。音楽CDからパソコンへ録音する前にWindows Media Playerの設定を変更してください。（73、74ページをご参照ください。）
● 再生したい音楽ファイルは、必ずリムーバブルディスクのMUSIC_ICフォルダ内に入れてください。VOICE_IC（A・B・C・D）フォルダに入れても再生できません。
● MP3・WMA形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。
● お客様が転送したMP3・WMA形式ファイルは個人として楽しむ他は著作権上、権利者に無断で使用することができませんのでご注意ください。
● 転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。

本機をパソコンのUSBポートに接続する

56ページ「本機をパソコンに接続する」参照。

転送したい音楽ファイルがあるフォルダを開く

Windows Media Playerを使用して取り込んだ(録音した)音楽データは、初期設定では**[マイドキュメント]**内の**[マイ ミュージック]**に保存されています。**[スタート]**メニューから**[マイ ミュージック]**をクリックして、フォルダを開きます。

- Windows Media Playerで取り込んだ(録音した)音楽データの保存先は、Windows Media Playerを起動して、**[ツール]－[オプション]－[音楽の取り込み]－[取り込んだ音楽を保存する場所]**で確認できます(Windows Media Player 10の場合)。

応用操作

3 転送したい音楽ファイルをコピーする

転送したい音楽ファイルに重なるようにマウスポインタを移動させ（複数のファイルをコピーしたいときはCtrlキーを押しながらマウスポインタを移動させます）、その状態で右クリックします。メニュー画面が表示したら、**[コピー]**（パソコン内の音楽ファイルを消去して本機に転送したいときは**[切り取り]**）を選択してクリックします。

これでファイルをコピーする準備ができました。

マイ コンピュータを開く

[スタート]メニューから**[マイ コンピュータ]**をクリックします。または、デスクトップ上の**[マイ コンピュータ]**をダブルクリックします。

5 リムーバブルディスクを開く

[マイ コンピュータ]内の**[リムーバブルディスク]**をダブルクリックします。

6 MUSICフォルダを開く

[リムーバブルディスク]内の**MUSIC_IC**フォルダをダブルクリックします。

7 音楽ファイルを転送する

[編集]をクリックし、メニュー画面が表示したら**[貼り付け]**を選択してクリックします。

コピーが開始され、同じ名前の音楽ファイルが作成されたら転送完了です。

＜コピー中の表示＞

転送するフォルダ・ファイルに関しては、次ページ「本機のフォルダ/ファイルについて」を参照してください。

8 本機をパソコンから取り外す

58ページ「本機をパソコンから取り外す」参照。

WMAを本機に転送する際の注意事項

パソコンから本機に転送および再生できないケースとして、以下のものがあります。

・ 著作権保護のされている音楽ファイル
・ インターネットで購入した音楽ファイル

本機のフォルダ/ファイルについて

[VOICE_ICフォルダ]

本機にて録音したファイルを保存するフォルダです。パソコンに保存したVOICE_ICフォルダのデータを、再度本機のMUSIC_ICフォルダに転送して再生することができます。

- 内蔵メモリの**A** フォルダに録音したファイルは、"IC_**A**_XXX(ファイル番号).MP3"というファイル名で、VOICE_ICフォルダ内のAフォルダに保存されます。
- b･C･dフォルダについてもそれぞれ同様です。
- A･b･C･dフォルダはそれぞれ最大99ファイルまで保存できます。
- VOICE_ICフォルダ内のファイルは、A～dフォルダごとに決められたファイル名の規則にしたがっているものだけ再生できます。
  例えば、bフォルダ内のIC_B_001.MP3は、Aフォルダに移動すると再生できません。また、ファイル名を変更すると、そのファイルはVOICE_ICフォルダに転送しても再生できなくなりますのでご注意ください。（ファイル名を変更したファイルはMUSIC_ICフォルダに転送すると再生できます。）

[MUSIC_ICフォルダ]

パソコンから転送するファイルを保存するフォルダです。

- 転送するファイル名はどのようなものでも構いませんが、MP3形式、またはWMA形式(著作権なしのみ)のファイルに限ります。
- MUSIC_ICフォルダ内にMP3形式、またはWMA形式のファイルを追加した場合に関しては再生順が変わる場合があります。

[DATA_ICフォルダ]

リムーバブルディスクとして、(EXCEL・WORDなどの)データファイルを保存するフォルダです。
本機ではDATA_ICフォルダに音声や曲ファイルを入れて再生することはできません。

[ALARMフォルダ]

アラーム時に再生するMP3/WMAファイルを保存するフォルダです。

- ALARMフォルダにファイルがない場合、アラーム音を鳴らします。
- 再生できるファイルは1ファイルのみです。

[GUIDEフォルダ]

音声ガイド(日本語版)を保存するフォルダです。
音声ガイドをダウンロードすると自動的に生成されます。
61ページ「音声ガイドをダウンロードする」参照。

再生順序の指定(プレイリスト)について

本機では、音楽の再生順序を指定することができます。
お手持ちのパソコンにてプレイリストを作成して、本機に転送することにより、ご希望の順番に音楽を再生することができます。また、本機には複数のプレイリストを転送することができます。(本機が対応しているプレイリストファイルはm3u※形式です。)

■ プレイリストの作成方法

1. お手持ちのパソコンに付属する文章ソフト(メモ帳など)にて、下記のようにMUSIC_ICフォルダ内の音楽ファイルを再生したい順番で入力します。

- ファイル名は目安として200文字以内で入力してください。長すぎると再生できないことがあります。
- VOICE_ICフォルダ内にある音声データの順番を変えることはできません。

2. 入力後、**[ファイル]-[名前をつけて保存]**をクリックし、プレイリストファイルを保存します。この時、ファイル名は必ず"PLAYLIST.m3u"としてください。
3. エクスプローラなどで、本機のMUSIC_ICフォルダに転送します。
4. 本機をパソコンから切り離して、本機で再生をおこないます。
"MUSIC_IC"フォルダに切り換えると自動的にPLAYLISTファイルの順番で再生されます。
一部正しく再生順序を指定できない形式があります。

※ m3u形式とはMP3などのプレイリストのファイル形式です。

※プレイリスト内の音楽ファイルが再生できない場合は以下の原因が考えられます。

・ プレイリストに記述した内容(ファイル名など)に誤りがある。
・ プレイリストに記述した音楽ファイルがMUSIC_ICフォルダ内に存在しない。

応用操作

本機データのフォーマットについて

フォーマットをおこなう場合、必ず本機でおこなうようにしてください。
パソコンでフォーマットをおこなうと、録音が正常にできない場合があります。
フォーマットするには40ページの「**全データを消去する(フォーマットする)**」をご覧ください。
パソコンでフォーマットをしてしまった場合は、本機でフォーマットをやり直してください。

本機が正常に認識されているか確かめる

本機をパソコンから一度取り外し、再接続した状態で、以下の確認作業をおこなってください。

デスクトップ上の**[マイ コンピュータ]**を右クリックし、表示されるメニューから**[プロパティ]**を選択して**[システムのプロパティ]**画面を開きます。**[ハードウェア]**タブ内の**[デバイスマネージャ]**ボタンをクリックして**[デバイスマネージャ]**を開きます。

[ディスクドライブ]と**[ハードディスクコントローラ]**を開いて、下図のように表示されていれば、ドライバが正しくインストールされています。

＜Windows 98の事例＞

上図のような表示にならない場合、次ページからの「デバイスマネージャで正しく表示されなかったら？」をご覧いただき、お使いのOSにしたがった操作をおこなってください。

■ Windows 98SE/98の場合

54ページ「Windows 98SE/98のUSBドライバのインストール」の操作でインストールがうまくいかなかった場合は、次の手順にしたがって再度おこなってください。

Windows XP/2000/Meをご使用の場合 → 98ページ参照

パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

起動中のアプリケーションはすべて終了させてから、以下の作業をしてください。
接続されている他のUSB機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外しておいてください。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、本機をパソコンのUSBポートに接続する

CD-ROM挿入時に、自動的に**[ステレオデジタルボイスレコーダーセットアップ]**画面が起動しますが、ウィンドウ右上の**[×]**ボタンをクリックし、画面を閉じてください。

「デバイスマネージャ」画面を確認する

[スタート]メニュー－**[設定]**－**[コントロールパネル]**－**[システム]**－**[デバイスマネージャ]**を開きます。
「!」または、**「?」**マークのついた**[不明なデバイス（表示が異なる場合があります。例：USB Device）]**を右クリックし、**[プロパティ]**を選択してクリックしてください。

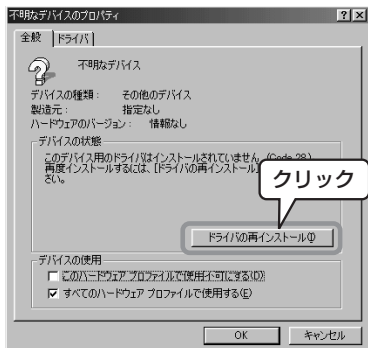
※ 上記で「?」や「!」マークの付いた不明なデバイス(もしくはUSB Device)が表示されていない場合、以下の手順で確認をおこなってください。

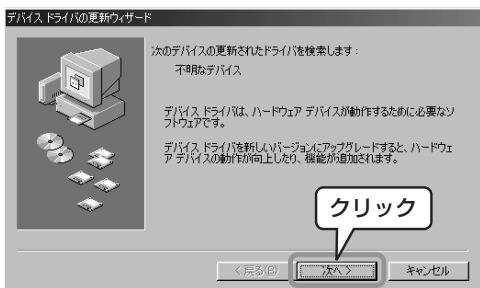
1. 他に使用しているUSB機器があれば、それらをすべて外して本機を単独で接続する。
2. パソコンにUSBポートが複数ある場合(前面・背面など)は、別のポートに本機を接続する。
3. USBハブ(USB端子分配用周辺機器)を介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してパソコンのUSBポートに直接本機を接続する。

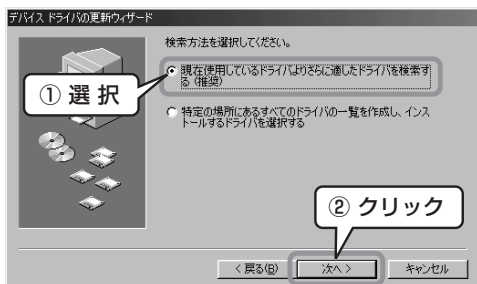
ご注意

接続するUSBケーブルは、必ず付属の専用USB接続ケーブルを使用してください。

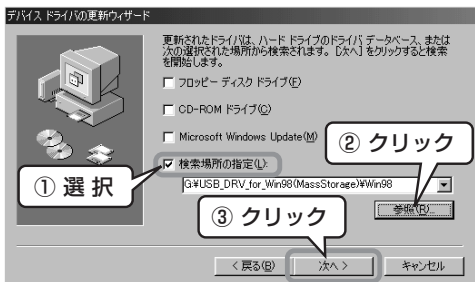
[ドライバの再インストール]をクリックする

[ドライバの再インストール]をクリックします。

5 インストールを開始する

「デバイスドライバの更新ウイザード」が開くので、**[次へ]**をクリックしてください。

6 検索方法を選択する

[現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)]を選択し、**[次へ]**をクリックします。

7 検索場所を指定する

[検索場所の指定]にチェックを入れます。
[参照]ボタンをクリックし、CD-ROMの
「¥USB_DRV_for_Win98(MassStorage)¥Win98」
フォルダを選択し、**[次へ]**をクリックします。
※ 他のチェックボックスにはチェックを入れないでください。

応用操作

[次へ]をクリックする

下記のように表示されていることを確認して、**[次へ]**をクリックします。

9 [完了]をクリックする

[完了]をクリックします。

再起動をうながす画面が表示される場合は、画面の指示にしたがってパソコンを再起動させてください。

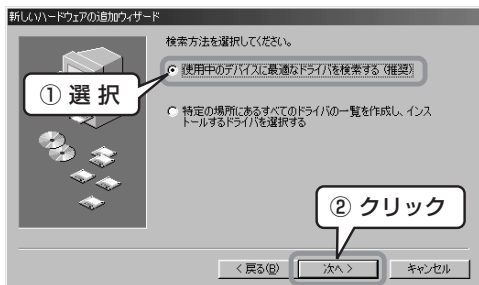
10 [次へ]をクリックする

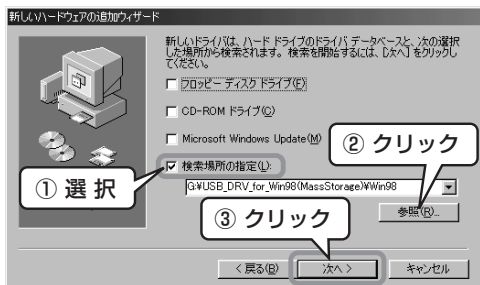
下記のように表示されていることを確認して、**[次へ]**をクリックします。

上記の画面が表示されない場合は、本機をパソコンから一度取り外し、再接続してご確認ください。

11 検索方法を選択する

[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、**[次へ]**をクリックします。

応用操作

12 検索場所を指定する

[検索場所の指定]にチェックを入れます。
[参照]ボタンをクリックし、CD-ROMの
「¥USB_DRV_for_Win98(MassStorage)¥Win98」
フォルダを選択し、**[次へ]**をクリックします。
※ 他のチェックボックスにはチェックを入れないでください。

13 [次へ]をクリックする

下記のように表示されていることを確認して、**[次へ]**をクリックします。

14 インストールを完了する

[完了]をクリックします。

これで、USBドライバのインストールが完了しました。
89ページ「本機が正常に認識されているか確かめる」を参照して、再度確認してください。

■ Windows XP/2000/Meの場合

※ Windows XP/2000/Meで89ページのデバイスマネージャのような表示がでない場合、以下の手順で確認をおこなってください。

1. 起動中のアプリケーションはすべて終了させてください。
2. 接続されている他のUSB機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。
3. パソコンにUSBポートが複数ある場合（前面・背面など）は、別のポートに本機を接続する。
4. USBハブ（USB端子分配用周辺機器）を介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してパソコンのUSBポートに直接本機を接続する。

ご注意

接続するUSBケーブルは、必ず付属の専用USB接続ケーブルを使用してください。

故障かな?と思うまえに

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機が動作しない

原　　因	乾電池が正しく入っていないか、乾電池切れである
解決方法	乾電池が正しく入っていることを確認してください。 一度乾電池を完全に抜いてから、乾電池を正常に入れ直してください。または新しいアルカリ乾電池に替えてください。 14ページ「乾電池の入れ方」参照

原　　因	内蔵メモリが異常である
解決方法	内蔵メモリをフォーマット(初期化)してから、再度録音しなおしてください。 40ページ「全データを消去する」参照

ボタンを押しても反応しない

原　　因	誤動作防止機能(ホールド機能)が設定されている
解決方法	誤動作防止機能(ホールド機能)を解除してください。 18ページ「誤動作を防止する(ホールド機能)」参照

原　　因	USB接続したままである
解決方法	本機をパソコンから外してください。

音声が聞こえない

原　因	音量が小さい
解決方法	音量を調節してください。 21ページ「音量を調節するには」参照

MUSIC(M)フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない

原　因	・ 再生できるファイル形式ではない ・ 著作権保護されている音楽ファイル ・ インターネットで購入した音楽ファイル
解決方法	WMA形式またはMP3形式のファイルをご使用ください。

原　因	転送先が異なる
解決方法	パソコンからファイルを転送するときに、VOICE(A、B、C、D)フォルダに入れても、本機で再生できません。必ずリムーバブルディスク内のMUSIC(M)フォルダ内に転送してください。 78ページ「パソコンのデータを本機に転送する」参照

原　因	本機で再生できないデータとなっている
解決方法	エンコーダー(MP3・WMA変換)ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。

原　因	プレイリストに書かれているファイルがMUSIC_ICフォルダ内にない
解決方法	プレイリストからそのファイル名を削除するか、MUSIC_ICフォルダ内にそのファイルを転送してください。

VOICE(A、B、C、D)フォルダ内のファイルが再生できない

原　　因	ファイル名が異なる
解決方法	パソコン上でファイル名を変更すると、再生できません。ファイル名を"IC_X(フォルダ名)_XXX(ファイル番号).MP3"に戻してください。

パソコン接続時に、リムーバブルディスクが表示されない

原　　因	パソコンと本機が正しく接続されていない
解決方法	本機側のUSBコネクタが正しく最後まで差し込まれているかどうか確認してください。 56ページ「本機をパソコンに接続する」参照

原　　因	パソコンからの電源供給が不十分
解決方法	USBハブを利用している場合は、パソコン本体のUSBポートと本機を接続してください。または、パソコン本体に複数USBポートがある場合は、他のポートに接続してください。 56ページ「本機をパソコンに接続する」参照

原　　因	ネットワークドライブが割り当てられている
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター(ドライブ名を表すアルファベット)がぶつかり、リムーバブルディスクが作成されない場合があるので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから再度接続してください。ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにお聞きください。

ファイル分割ができない

原　因	ファイルの録音時間が短かすぎる
解決方法	ファイル分割は録音時間の長いファイルでおこなってください。 LP…約32秒以上、SP…約16秒以上、HQ…約8秒以上、HS…約4秒以上

原　因	メモリの空き容量が足りない
解決方法	不要なファイルは消去してください。 40ページ「全データを消去する」参照

音声ガイドが使用できない

原　因	BEEP音設定が音声ガイドになっていない
解決方法	メニューモードからBEEP音設定で音声ガイドを選択設定してください。 50ページ「各種メニューの設定-BEEP音設定」参照

原　因	音声ガイドファイルが消去されている
解決方法	付属のCD-ROMのソフウェアを実行して再度音声ガイドをダウンロードしてください。 61ページ「音声ガイドをダウンロードする」参照

カレンダーが正しく表示されない

原　因	カレンダーが設定されていない（初期化されている）
解決方法	カレンダーが点滅表示していると、カレンダー設定が初期化されていますので日時を再設定してください。 19ページ「日時を設定する」参照

パソコンから本機へのデータの転送速度が遅い

解決方法	本機の電源を入れ直してください。 本機のフォーマットをしてください。 40ページ「全データを消去する」参照

”ME M -- -- -- ”と表示されて動作できない

原　　因	FAT管理システムのエラー
解決方法	内蔵メモリのフォーマット(初期化)を行なってください。 40ページ「全データを消去する」参照

より詳細な情報やその他のよくあるご質問は、当社ホームページのサポートページにて随時更新しています。そちらも併せてご覧ください。
“http://www.sanyo-audio.com/support/icr/index.html”

お手入れについて

お手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

主な仕様

内蔵メモリ　：256MB(ICR-S177M)
512MB(ICR-S178M)
対応OS　：Windows XP/2000/ME/98/98SE
録音時間　：

録音モード	ICR-S177M	ICR-S178M
HS	約4時間20分	約8時間40分
HQ	約8時間40分	約17時間30分
SP	約17時間20分	約35時間10分
LP	約34時間50分	約70時間30分

録再周波数特性　：100～7.5kHz（HS時）
100～7kHz（HQ時）
100～4kHz（SP時）
100～4kHz（LP時）
録音フォーマット　：MP3形式
再生フォーマット　：MP3、WMA形式
再生周波数　：20～20kHz
サンプリング周波数　：16～44.1kHz
再生対応ビットレート　：16～192kbps（MP3）、
32～160kbps（WMA）
S/N比　：82dB
入出力端子　：USB
ステレオヘッドホン3.5φミニ
ステレオ外部マイク
動作温度　：＋5℃～＋35℃
定格出力（ヘッドホン）　：8.5mW+8.5mW(16Ω負荷時、JEITA/DC)
電源　：単4形アルカリ乾電池×2本
電池持続時間（JEITA）　：アルカリ乾電池　約12時間（連続録音時間）
アルカリ乾電池　約12時間（スピーカー再生時連続再生時間）

※連続録音再生時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。また、アルカリ乾電池以外の乾電池での動作保証はいたしません。

最大外形寸法	：幅29.2×高さ117.6×奥行き14.5/16.7(スピーカー部)mm
質量	：約57g(電池含む)
付属品	：単4形アルカリ乾電池 (2) 専用USB接続ケーブル (1) 本書(保証書付) (1) 基本操作ガイド (1) CD-ROM (1)

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より**1年間**です。

保証書について

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の99ページからをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

ステレオデジタルボイスレコーダの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間です。この期間は経済産業省の指導によるものです。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。
総合相談窓口：家電製品についての全般的なご相談
修理相談窓口：修理サービスについてのご相談

総合相談窓口（全般的なご相談）

三洋電機(株) お客さまセンター

相談受付時間

9:00～18:30

北海道地区......... 札　幌 ☎ (011)290-1522
東北地区............ 仙　台 ☎ (022)714-6137
関東地区............ 東　京 ☎ (03)3815-1111
中部・北陸地区... 名古屋 ☎ (052)533-5245
近畿・四国地区... 大　阪 ☎ (06)6994-9570
中国地区............ 広　島 ☎ (082)297-6067
九州・沖縄地区... 福　岡 ☎ (092)461-8022

● 郵便・FAXでご相談される場合は
三洋電機(株)お客さまセンター
〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX (06)6994-9510

修理相談窓口(修理サービスについてのご相談)

三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間　月曜日～金曜日　[9:00～18:30]
土曜・日曜・祝日　[9:00～17:30]

出張修理のご依頼　その他の修理相談窓口

東コールセンター　東京　☎ (03)5302-3401
西コールセンター　大阪　☎ (06)4250-8400

関東・首都圏および近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話番号をご利用いただけます。

東コールセンターへの転送電話番号

地区	都市	電話番号
北海道地区	札　幌	☎ (011)833-7888
東北地区	仙　台	☎ (022)382-2213
長野地区	長　野	☎ (0263)26-1772
新潟地区	新　潟	☎ (025)285-2451
福島地区	福　島	☎ (024)945-6811

西コールセンターへの転送電話番号

地区	都市	電話番号
北陸地区	金　沢	☎ (076)237-6650
東海地区	名古屋	☎ (052)979-3456
中国地区	広　島	☎ (082)293-9333
四国地区	高　松	☎ (087)844-8321
九州地区	福　岡	☎ (092)922-9311

沖縄地区　沖　縄　☎ (098)944-5018
受付時間　月曜日～土曜日
(日曜、祝日および当社の休日を除く)
[9:00～12:00、13:00～17:30]

その他

※「持ち込み修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。
受付時間： 月曜日～土曜日（日曜、祝日を除く）
[9:00～17:30]

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けしたお客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および、法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

<利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品･サービスに関わるご相談･お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機（株）および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理･監督をいたします。

北　海　道　地　区

札　　幌	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
函　　館	(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
苫 小 牧	(0144)57-8707	〒059-1364	苫小牧市沼ノ端230-1034
旭　　川	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北三条7-3-3
北　　見	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
釧　　路	(0154)22-1576	〒085-0035	釧路市共栄大通3-1-6青木ビル

東 北 地 区

仙　　台	(022)287-8351	〒984-0032	仙台市若林区荒井字丑ノ頭 43-1
青　　森	(017)729-3401	〒030-0141	青森県青森市大字上野字山辺 29-5
八　　戸	(0178)28-9225	〒039-1121	青森県八戸市卸センター1-6-7
盛　　岡	(019)623-1600	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-12-1
水　　沢	(0197)23-6621	〒023-0003	奥州市水沢区佐倉河字羽黒田 45
山　　形	(023)641-1769	〒990-2331	山形県山形市飯田西4-5-35
酒　　田	(0234)23-3817	〒998-0842	山形県酒田市亀ヶ崎6-7-16
秋　　田	(018)862-6551	〒011-0901	秋田県秋田市寺内イサノ93-1
郡　　山	(024)945-6793	〒963-0107	福島県郡山市安積3-120

関 東 ・ 甲 信 越 地 区

さいたま	(048)778-3095	〒362-0025	埼玉県上尾市上尾下780-1
坂　　戸	(049)284-8900	〒350-0214	埼玉県坂戸市千代田5-3-17
栃　　木	(028)614-3883	〒321-0111	栃木県宇都宮市川田町字免ノ内 765-5
茨　　城	(0298)64-4751	〒300-3261	茨城県つくば市花畑2-15-3
水　　戸	(029)251-4125	〒311-4152	茨城県水戸市河和田 3-2386-1
群　　馬	(0270)40-7611	〒372-0003	群馬県伊勢崎市華蔵寺町87-1
新　　潟	(025)285-2431	〒950-0942	新潟県新潟市小張木2-16-43
長　　岡	(0258)46-8065	〒940-2127	新潟県長岡市新産2-9-4
上　　越	(025)543-3535	〒942-0081	新潟県上越市五智 1-11-8 斉藤オフィス
城　　東	(03)5697-8160	〒120-0005	東京都足立区綾瀬7-22-15 綾瀬7丁目ビル
城　　北	(03)5914-3413	〒174-0051	東京都板橋区小豆沢1-23-10
城　　西	(03)5347-0761	〒167-0032	東京都杉並区天沼3-12-12 テック杉並
東　　京	(03)5803-3541	〒113-0033	東京都文京区本郷3-22-5 住友不動産本郷ビル5F
武 蔵 野	(042)364-7721	〒183-0033	東京都府中市分梅町5-9-1
戸　　塚	(045)827-2831	〒224-0806	神奈川県横浜市戸塚区上品濃 9-14
相 模 原	(042)788-2760	〒194-0012	東京都町田市金森851-3
平　　塚	(0463)55-3926	〒254-0014	神奈川県平塚市四之宮3-20-60

関　東・甲　信　越　地　区

京　　浜	(044)740-3530	〒211-0041	神奈川県川崎市中原区下小田 5-11-21
千　　葉	(043)208-3810	〒260-0842	千葉県千葉市中央区南町 3-7-15
鎌ケ谷	(047)441-0111	〒273-0105	千葉県鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59
山　　梨	(055)226-2561	〒400-0035	山梨県甲府市飯田4-8-23

中　部　地　区

名古屋	(052)979-3455	〒461-0025	愛知県名古屋市東区徳川 1-901 サンエース徳川ビル1F
名古屋西	(052)485-3620	〒453-0816	愛知県名古屋市中村区京田町 2-1
岡　　崎	(0564)23-3418	〒444-0860	愛知県岡崎市明大寺本町1-20
岐　　阜	(058)246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
静　　岡	(054)236-0691	〒422-8034	静岡市駿河区高松2-26-10
沼　　津	(055)935-0501	〒410-0822	静岡県沼津市下香貫七面 1152-2
浜　　松	(053)461-8685	〒430-0812	静岡県浜松市本郷町123
松　　本	(0263)40-3411	〒390-0852	長野県松本市島立1064-1
長　　野	(026)299-9501	〒388-8006	長野県長野市 篠ノ井御幣川字東松島1000-2
金　　沢	(076)292-2060	〒921-8005	石川県金沢市間明町2-100
富　　山	(076)422-7020	〒939-8211	富山県富山市二口町1-13-8
福　　井	(0776)53-7134	〒910-0834	福井県福井市丸山1-1002
三　　重	(059)236-5195	〒514-0111	三重県津市一身田平野285-2

近　畿　地　区

大　　阪	(06)6992-6235	〒570-0086	大阪府守口市竹町4-13
大阪南	(06)6761-4600	〒543-0001	大阪府大阪市天王寺区上本町 5-1-14三洋ビル2F
大阪東	(0729)65-1811	〒578-0903	大阪府東大阪市今米2-3-29
阪　　和	(072)221-8571	〒590-0026	大阪府堺市向陵西町2-1-24

近　畿　地　区

京　　都	(075)645-1434	〒612-8427	京都市伏見区竹田真幡木町26-1
三　　丹	(0773)24-3405	〒620-0062	京都府福知山市久市町290番地　和久市岩掘ビル2F
奈　　良	(0744)22-7888	〒634-0837	奈良県橿原市寺田町113-1
滋　　賀	(077)545-2221	〒524-0021	滋賀県守山市吉身4-1-24南井産業第3ビルB棟
和 歌 山	(073)473-7112	〒640-8301	和歌山県和歌山市岩橋1636-1
田　　辺	(0739)22-7520	〒646-0051	和歌山県田辺市稲成町南江原318
神　　戸	(078)641-1251	〒653-0038	兵庫県神戸市長田区若松町2-1-9ピアザビル3F
阪　　神	(06)6432-3401	〒661-0026	兵庫県尼崎市水堂町4-17-6
姫　　路	(0792)82-7892	〒670-0943	兵庫県姫路市市之郷町1-9
淡　　路	(0799)22-6015	〒656-0478	兵庫県南あわじ市　市福永536-1

中　国　地　区

広　　島	(082)293-6511	〒733-0012	広島県広島市西区中広町2-1-2
福　　山	(084)954-4101	〒721-0952	広島県福山市曙町4-22-10
岡　　山	(086)245-1634	〒700-0973	岡山県岡山市下中野703-101
津　　山	(0868)22-6133	〒708-0002	岡山県津山市上河原239-10
鳥　　取	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取県鳥取市南吉方3-107
浜　　田	(0855)22-7883	〒697-0023	島根県浜田市長沢町3049
松　　江	(0852)23-1183	〒690-0044	島根県松江市浜乃木2-15-3
山　　口	(083)973-3391	〒754-0024	山口県山口市小郡若草町2-6

四　国　地　区

四　　国	(0896)23-3416	〒799-0404	四国中央市三島宮川2-732-4
愛　　媛	(089)979-3486	〒799-2655	愛媛県松山市馬木町274番地
香　　川	(087)843-1840	〒761-0101	香川県高松市春日町片田1657-1
高　　知	(088)831-2570	〒780-8007	高知県高知市仲田町6-12
徳　　島	(088)699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189-1

九　州　地　区

福　　岡	(092)928-3414	〒818-8534	福岡県筑紫野市紫6-1-1
北 九 州	(093)521-5286	〒802-0004	福岡県北九州市小倉北区鍛冶町2-4-7
中 九 州	(0942)37-3934	〒830-0038	福岡県久留米市西町105-18
長　　崎	(095)813-3545	〒851-0101	長崎県長崎市古賀町1006-5
佐 世 保	(0956)31-7635	〒857-1162	長崎県佐世保市卸本町17-1
熊　　本	(096)357-1122	〒861-4106	熊本県熊本市南高江3-2-88
八　　代	(0965)35-3483	〒866-0871	熊本県八代市田中東町12-7
大　　分	(097)543-3454	〒870-0829	大分県大分市椎迫5-6組
宮　　崎	(0985)29-3441	〒880-0022	宮崎県宮崎市大橋3-224
鹿 児 島	(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島県鹿児島市東郡元町11-10

沖　縄　地　区

沖　　縄	(098)944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)　サービス部

(240306I)

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用した場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客さまの負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客様ご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

● 保証期間が経過した後の修理についての詳細は「保証書とアフターサービス」の項をご覧ください。

三洋電機株式会社
パーソナルエレクトロニクスグループ
DIカンパニー　国内販売担当
〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号
電話 **大東(072)**870-4186(直通)
ボイスレコーダ－サポートホームページアドレス
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/index.html
1AD6P1P1976-LA